

● 安全にお使いになるためのご注意

担架(収納袋含)を火気に近づけないでください。火災の原因となります。

金具の連結部分は金属が擦れ合うため、組み立てるとまれに薄い「バリ」(薄い金属屑)が浮き上がってしまうことがあります。ここに触れると指を切ってしまう危険もありますのでくれぐれもご注意ください。

また、金具の連結部等の可動部を素手や素足(靴を履いていない状態)で押すと手足や指を挟んでしまう危険性がありますのでご注意ください。

● メンテナンス

汚れた場合は中性洗剤を付けたやわらかい布で拭いたあと、清潔な布で仕上拭きをしてください。毎回ご使用前・ご使用後に、異常がないか確認してください。また消耗・損傷・ねじの緩みなどは定期的に点検してください。部品が欠損していると正常に動作しない原因になりますので、欠損や故障した状態でのご使用はおやめください。また、直射日光のあたる場所や高温多湿な場所での保管はおやめください。

● 保証について

エイ・エヌ・エス株式会社はご購入日から5年間、当製品を保証します。ただし、製品の間違った使用・改造、説明書通りに保守しなかったことに起因する故障、天災についてはこの保証を適用できません。保証については、使用によって消耗した部品(シートやベルトの破れ等含)や激しい取扱によって生じた故障箇所を無償交換するものではありません。また、保証は部品の提供もしくは本体の交換であり、修理をするものではありません。初期不良の場合は7日以内にご連絡ください。この保証書は日本国内でのみ有効です。

お問い合わせ

ans

エイ・エヌ・エス株式会社

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町3-3-13 1F
TEL 03-6661-6699 FAX 03-6661-6698

www.ans-shouji.com

仕 様	
材質	アルミ合金 塩化ビニール (PVC)
最大荷重	159kg
重量	6kg
寸法	205cm x 53cm x 13cm
折畳寸法	97cm x 11cm x 17cm

ans

軽量携帯用折りたたみ担架

ANS 24



取扱説明書

保管用

警告



- ご使用する前にならずお読みください。
- 患者の搬送用以外には使用しないでください。
- 保管は室内でおこなってください。

この度はANSの担架をご購入いただき、ありがとうございます。

使用方法是ホームページの動画もご参照ください。 www.ans-shouji.com/ANS24.html

「ANS 24軽量携帯用折りたたみ担架」は機能性・耐久性・使いやすさを兼ね備えた便利な汎用担架です。1台備えておけば救急・介護・防災など多方面で活躍します。

ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。誤ったご使用は事故の原因になります。

また、保証書が付いておりますので大切に保管してください。

※ 製品の改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。ご了承ください。

● ご使用前に

- ・ まず内容品(担架収納袋、担架本体、ベルト2本)を確認してください。
- ・ 商品が破損していないか、部品の脱落はないかなどを確認してください。
- ・ ボルト・ナットの緩みやフレームのゆがみなどがなくないかを確認してください。
- ・ もし異常がありましたら、ただちに販売店もしくは弊社までご連絡ください。
- ・ この担架は折り畳む構造上、どうしても摩擦や金具の接触によりシートやフレームに汚れ・しわ・傷等が付いてしまう場合があります。使用上問題はありませのでご了承ください。

● 重要

この担架は2～4名で傷病者を搬送するための搬送器具です。使用目的以外のご使用は絶対におやめください。また、危険な環境(急こう配、滑りやすい場所等)でのご使用はおやめください。患者が転落して重大な事故につながる恐れがあります。改造は絶対におやめください。故障の原因になり大変危険です。

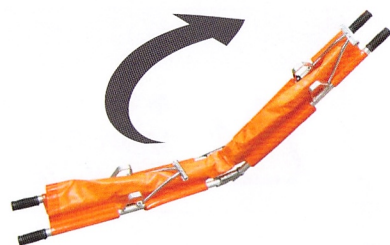
● 使用上の注意

組み立てる際、金具の連結部やフレームの隙間などに指を挟まないようにご注意ください。

使用方法

1 担架を取り出す

収納袋から担架を取り出し、マジックテープを外して平らな場所でひろげます。



注) 折り畳むときは、元通り(折り目通り)に戻すと綺麗に畳めます。また、折り畳むときは金具にシートが挟まらないようご注意ください。シートを挟んだまま折り畳むと、シート損傷の恐れがあり危険です。

2 担架を組み立てる

図のように金具の中央部を足などで強く押し、支えを固定します。反対側の金具も同様に固定します。金具は同じ向きなので、担架を半分に折った状態(L字)で作業すると簡単です。金具が固定されると、シートがぴんと張った状態になります。



注) シートは体重に耐えられるようきつめに張る必要があり、担架を上げたときにシートの張力で担架が平行にならず中央部が多少盛り上がりてしまうことがありますが、製品の異常ではありません(人を載せればまっすぐになりますのでそのままお使い下さい。何度か使用すると次第にこなれてきます)。

また、人を載せたときに簡単に外れないよう、支え金具の連結部分はある程度固くなっており、組立時には少し力が必要です。足などで金具を強く押して組立てて下さい(折畳時も同様に足で金具を踏むと簡単です)。

3 固定ベルトの用意

ベルトは2本付属しています。担架の下から1周させてバックルが上にくるようにしてください。ベルトの位置は患者の胸部ならびに脚部にくるようにします(脚部側はベルトがずり落ちないように担架の足より内側に付けてください)。



4 患者をのせる

患者をのせたら2本のベルトでしっかりと体を固定し、2～4名で持ち手をしっかりと持って搬送します。搬送時は必ず水平に保ち、転落・転倒しないように注意してください。

注) 傷病者の搬送は、医師や救急隊員の指示に従い適切な方法で行ってください。頭部を強打した場合や脊椎損傷が疑われる場合などは無理に動かさず、救急隊の到着を待つか医師や救急隊員の指示を仰いでください。

